

# 一貫教育校の広場

ニューヨーク学院  
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢  
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部  
(2013年4月開校)

幼稚園

## 二〇一三年四月開校の横浜初等部

横浜初等部は、開設準備室が二〇〇八年に発足して以来、開設の具体的準備を進めて来ましたが、二〇一二年の八月三日付で神奈川県知事より学校設置認可が得られました。そして、八月末には、三田山上の西校舎ホールで合計六回の学校説明会を開催しました。十一月下旬には入学試験を行い、二〇一三年四月には最初の一年生二〇八人を迎えられることとなります。

横浜市青葉区の校地（最寄駅は東急田園都市線江田駅）では、十一月末竣工の予定で校舎の建築が進んでいます。私達は、入学して来た子供達には、授業の時間だけでなく、昼休みや放課後に、友達と身体を動かして遊んだり、良書と出会ったりしながら、大いに好奇心を逞しくして欲しいと願っています。そこで、竣工実際の今も、四月からの授業等の準備の一方で、校舎や校庭についても、更に細かく工夫を加えています。

日々の生活の核となる空間として校庭と図書館を大切にしています。例えば、

その校庭では、植える木を決めるに当たっても、設計者任せではなく、蝶の幼虫が好む草木（食草）、その成虫が蜜を吸う花（吸蜜植物）等を組み合わせたり、カブトムシやクワガタの好む木を要所所所に入れるような工夫をしています。芝生のグラウンドを走りまわっている時に、ふと足をみると、自分の足が地面に着くのに合わせてバッタが

●横浜初等部開設準備室長 山内慶太  
やまうちけいた

と、どんどん先に跳んで行き、目を上げると綺麗な蝶が飛び交っている、そのような校庭で思う存分遊んで欲しいものです。図書館は、約一三〇〇平方メートルと十分な広さがありますが、そこに、本棚と様々な標本、資料の展示を組み合わせて、好奇心を刺激し、興味を異なる分野にまで広げていくことのできる空間を創り出す工夫をしています。例えば



図書館完成予想図

カブトムシの好きな子供であれば、まずはカブトムシの絵が多く書かれた本に手が伸びるでしょう。そして、低学年であつても、いつの間にか、隣にある大人向けの図鑑まで開いてみるかもしれませぬ。近くに世界地図や地球儀、更に世界の国々の本にも目が向く工夫がなされていけば、いろいろなカブトムシがどの国に生息するかを知った子供は、昆虫から世界地理へと興味が広がるといふ次第です。また、宇宙に興味がある子供であれば、宇宙の話、星座の話から、ギリシャ神話の世界にも思いを広げることができるといふでしょう。

幼稚園の校舎を見ても、良い校舎というものは、休み時間には各クラスから生徒がテラスや廊下に出てくると、授業中とは全く異なる動きが感じられ、美しさを増すものです。初等部の校舎も既にほぼ完成した姿を示していますが、来春生徒がそこで過ごし始めた時に、どのような表情を示すことになるのでしょうか。（二〇一二年十月執筆）